

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全2枚)

氏 名 南出 貞子

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
1 (1)	<p>デジタル人材育成事業について 女性DX人材育成・就労支援事業について</p> <p>令和7年6月補正では、加賀市と連携協定をしている日本マイクロソフト株式会社と協力し、女性向けの研修プログラムとして、「女性AIスキルアップ研修」が計上された。女性がデジタルスキルを身につけることは、女性の活躍にもつながり、大変よい取組だと考える。今回の6月補正予算にデジタル人材育成事業として、「女性DX人材育成・就労支援事業」で500万円が計上されているが、この事業を実施することで具体的にどのような効果を期待しているのか。</p>	
	<p>(2) 就労機会の提供について</p> <p>スキルアップしたその先は、リモートでスキルを生かせる仕事ができることで、加賀市に住み続けることができる、とあるが、具体的にはどのような伴走支援策があるのか示せ。</p>	
2 (1)	<p>乗合タクシー運行事業（定期券導入）について 実証運行での分析について</p> <p>昨年度実施された定期券実証運行については、実際に利用者が増加したと聞いており、市民からも「ぜひ今後も継続してほしい」との声が寄せられている。</p> <p>本事業を一時的な事業で終わらせず、市民生活における重要な移動手段として確固たる制度へと確立する必要があると考えるが、実証運行の前後において、利用者数の推移や利用頻度、あるいは新たな利用層の開拓など、具体的にどのような効果や変化が見られたのか、その分析結果を示せ。</p>	
	<p>(2) 本格運行について</p> <p>今回の実証結果や見いだされた課題を踏まえ、本格運行へ移行するにあたり、運賃設定や充実させる点など、これまでの制度からどのような変更や見直しを行う予定なのか、具体的な方針を示せ。</p> <p>また、昨年9月の定例会で同僚議員も質問していたが、定期券の販売場所が、加賀市役所、山中温泉ぬくもり診療所、アビオシティ加賀、加賀第一交通株式会社の4か所であることについて、利用者の多い高齢者に配慮した販売先は考えられないのか。例えば、郵便局等自分の住んでいる地域で購入することはできないのか、各地域の方が身近に購入できるような取組を考えているのか。販売所の現在の状況及び今後の計画について、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 南出 貞子

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
3	<p>(1) トイレカー整備事業について 事業の内容について トイレカーの整備は、今や、いつでも起こりうる自然災害等に備え、トイレ環境を確保する上で、避難者にとって最も重要で、なくてはならない整備と考える。 今回、トイレカー整備事業費として自走式トイレカー2台で2,140万円計上されているが、以下について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 架装部内と常置先について ・ 発災時の具体的な運用について ・ 使用後の処理は専門の業者に委託するのかなど、使用後の処理について <p>(2) 今後の整備計画について 今後の対応として、市内全域での配備計画は何年度までに完備するのか。</p>	
4	<p>次期加賀市観光戦略プランの作成について 北陸新幹線延伸から2年が経過し、この間多くの観光客が加賀市を訪れている。現在は、開業当初のにぎやかさも落ち着きを見せており、今後の誘客増を図るには、「加賀温泉郷そのものの魅力による誘客」と「リピーターの獲得」に向けて、まさに真の実力が試される重要な時期に来ており、さらなる魅力を発信する必要がある。 また、令和6年能登半島地震からの復興や昨今のインバウンド急増などもあり、現在は、本市の観光にとって特に必要な時期と言える。 しかしながら、今後の観光施策の指針となる「次期加賀市観光戦略プラン」の策定状況が見えていない。慎重な検討を続けているのかもしれないが、プラン策定の遅れは、国の補助金獲得における機会損失につながるかもしれない、早期に策定すべきと考える。そこで、観光現場に寄り添い、この重要な局面を官民一体で乗り越えていくため、「次期加賀市観光戦略プラン」の公表予定時期及び次期プランに掲げる目指すべき基本方針はどのようなものか示せ。</p>	